

◇ 資源ごみの分け方と出し方 ◇

資源になる「缶類」とは？

区分	品 目	利用方法
缶 (飲料・食料)	● 菓子や粉ミルクなどの缶 ● 清涼飲料水の缶 ● 酒類の缶 ● 缶詰の缶 ※一斗缶は不燃ごみとして出してください。	主にアルミ缶・スチール缶や自動車部品等としてリサイクルされています。
スプレー缶	● ヘアスプレーや消臭スプレーなどのスプレー缶 ● カセットガスボンベ	

※アルミ・スチールは同じ回収箱に入れてください。

飲料・食料等の缶とスプレー缶に分けて回収箱に入れてください。

出し方

1 出す前に

- 飲料や食料等の缶などの場合 **きれいに洗って、中をすすぐ**
汚れていると資源にならず、虫などがわく原因になります。
- スプレー缶の場合 **中身を使い切りノズル等を外す**
中身の残っているものは、火気のない風通しのよい屋外で、先端部をガス抜きキャップやコンクリートなどに押し付けてガスを抜いてください。(※危険なので穴は開けないでください)

※どうしても中身が出し切れないものは清掃工場へ直接お持ち込みください。

2 缶類収集日の朝6時から8時までに回収箱に分けて入れる

品目ごとに分けて入れてください。



資源ごみとして出せないもの

- 洗っていないもの・汚れているもの(中身の残っているもの)
- なべ、やかん、くぎやアルミホイルなどの缶以外の金属製品

このようなごみは、**不燃ごみとして出してください。**

なお、飲料や食料品の缶などを不燃ごみとして出す場合も**必ず中身を使い切ってください。**